

# 促成山菜の パイオニア 雪の最上から春を届ける



## 雪 うる い



最上町 後藤農園代表 後藤修二さん

### 「雪うるい」への思い

父の定年退職を機に会社員を辞めて農家になった後藤さん。「雪うるい」の栽培を始めたのは、約20年前に最上町で促成山菜栽培を始める動きがあったのがきっかけだそう。促成山菜栽培に初期から携わり、失敗を繰り返しながらも独自の栽培方法を確立し、収量は当初の約3倍になったという。

その努力の結晶とも言える栽培方法を、後藤さんは教わりに来た人には隠さず教えている。理由を尋ねると、「自分だけが上手くいけばいい、という思いでは今後やっていけない。最上町全体で生産量を確保するためにも、どんどん教えていくことにしている。」と話してくれた。

「雪うるい」は光が当たると葉が緑色に変化し、えぐみが強くなるため、収穫後に収納する箱へ遮光シートを張り、パックに詰められた後も裏返し、段ボールに詰める際は隙間をテープで塞ぐなど、高い品質を維持する妥協しない取り組みを行っている。

◀ハウス内の様子  
遮光シートで光を遮りながら栽培を行っている。遮光シートを取ると...



▶綺麗に並ぶ「雪うるい」の姿が。

## 「やまがた最上の山菜」PR動画のご紹介

最上地方の山菜について知りたい…という方必見！  
最上のおいしい山菜情報が満載です。

## CM動画「いち、に、山菜！」

動画はこちらから

→[http://youtu.be/BIZD\\_HcfgLg](http://youtu.be/BIZD_HcfgLg)



## 促成山菜って何？

雪深い冬場にハウスの中で温度・湿度・光をコントロールして芽吹かせることで、天然の山菜を狩るより早い1月頃から収穫できる山菜のこと。

代表的な最上促成山菜は、雪うるい、たらの芽、わらび、青ごごみ、ふきのとうがある。

## 新庄市 たらの芽農家 今田奈穂さん



# たらの芽

### 「たらの芽」先輩農家の方々へ感謝

建設業の退職をきっかけに農業を始めた今田さん。最初は10アールの農地でネギの栽培から始めた。しかし、畑の土は石混じりで耕起した際にネギを傷つけてしまったため、商品にならないことに悩んだ。

そこで、試しに植えた「ふきのとう」が石混じりの畑の土とも相性が良いことを知り、山菜に可能性を感じて栽培を始めた。



市場へ「ふきのとう」を出荷した際に、同じく出荷されていた「たらの芽」が目にとまり、その可愛さに一目惚れし、同じ山菜なら畑の土と相性もいいのではと考え栽培を始めた。

「栽培を始めてからは、『たらの芽』繋がりの先輩農家が増え、様々な知恵や栽培方法を教えていただいたことで、今まで栽培を続けることが出来た。先輩農家の方にはとても感謝している」と話してくれた。最後に、これからも「たらの芽」の研究を続け、自分でトライした成果を後世に伝えていきたいと意気込みをいただいた。



▲▲たらの芽の収穫風景  
芽ごと輪切りにして発芽を待ち、  
発芽後は一つ一つ丁寧に手作業  
で収穫する。